

『ブロンテ・スタディーズ』バックナンバー

巻	号	出版年	主な内容	著者	備考	在庫
1	1	1986	日本ブロンテ協会の実現	河野多恵子		無
			シャーロット・ブロンテの試行錯誤	中岡洋		
			『嵐が丘』論 ——ヒースクリフの二面性について——	澤渡玲子	奨励賞受賞論文	
			エミリとブロンテ姉兄妹	斉藤由美子	奨励賞受賞論文	
			英文学ロマンの旅 ——ブロンテ文学の源を中心に I. ブロンテ・ツアーに参加して II. ブロンテ姉妹の世界を訪ねて	桑原幸子 佐藤明子		
1	2	1987	ハワースにて	河野多恵子		無
			シャーロット・ブロンテと伝統 ——現在における『ジェイン・エア』	青山誠子		
			ジェインとシャーロットにおける食と生	宇田和子		
			『嵐が丘』における不合理性 ——ヒースクリフのあざ笑いの謎——	澤渡玲子	奨励賞佳作論文	
			<i>Wuthering Heights</i> の天上性と地上性 ——CatherineとHeathcliffの愛について——	楚輪松人	奨励賞佳作論文	
			『嵐が丘』の倒叙法 ——謎は解かれた——	嶋茂幸	奨励賞佳作論文	
			『嵐が丘』における日記の意味 ——キャサリンとヒースクリフの愛の呼応——	小林里美	奨励賞佳作論文	
1	3	1988	『嵐が丘』の語りの効果とアイロニー	鮎澤乗光		無
			シャーロット・ブロンテの小説 ——試練を超えて—— (その1)	樋口陽子		
			Lucy Snoweの人間形成の過程	青山加奈	奨励賞佳作論文	
			孤独と握手 ——『ヴィレット』小論	金子弥生	奨励賞佳作論文	
			「『嵐が丘』の舞台をめぐる旅」報告	中岡洋		
			『嵐が丘』の舞台をめぐる旅	朝日千尺		
			ブロンテを訪ねる旅	飯島朋子		
1	4	1989	『ヴィレット』のいろいろな読み方	都留信夫		無
			シャーロット・ブロンテの小説 ——試練を超えて—— (その2)	樋口陽子		
			罪と宿命——『嵐が丘』への一考察——	大平栄子		
			レベッカ・フレーザー著 『シャーロット・ブロンテ論』	朝日千尺	書評	
			神山妙子編 『愛と結婚——イギリス小説の場合』	榎本義子	書評	
			鮎澤乗光著『イギリス小説の読み方 ——オースティン, ブロンテ姉妹, エリオット, ハーディー, フォースター』	直野裕子	書評	
			川口喬一著 『小説の解戦略——「嵐が丘」を読む』	大野龍浩	書評	
			稲元理恵子著『嵐が丘の秘密』	高野秀夫	書評	
1	5	1990	書くことと隠すこと——『ヴィレット』の一面	海老根宏		無
			アングリシア伝説に見るヒロイン像	岩上はる子		
			<i>Plays in Villette</i>	林 完枝	奨励賞受賞論文	
			シェイクスピアヘッド版ブロンテ全集の 復刊によせて	児玉久雄	書評	
			Elizabeth Imalay, <i>Charlotte Brontë and the Mysteries of Love: Myth and Allegory in Jane Eyre</i>	大平栄子	書評	

			中岡洋編著『ブロンテ姉妹の留学時代』	高見幸郎	書評	
			宇田和子「『嵐が丘』におけるフラクタル」	鈴木美津子	論文紹介	
			第2回ブロンテ・ツアー報告	中岡洋 芦澤久江 吉澤史江		
			日本におけるブロンテ研究書誌（その1,2）	樋口陽子 金子弥生		
1	6	1991	The Brontës' Younger Women	Arthur Polland	論文	無
			シャーロット・ブロンテとフェミニズム ——『シャーリー』における二人の男性	白井義昭	論文	
			『嵐が丘』論——窓ガラスの秘密	芦澤久江	奨励賞受賞論文	
			シャーロット・ブロンテとガヴェネス	大槻薫子	研究ノート	
			Victor A. Neufeldt, ed. <i>The Poems of Patrick Branwell Brontë</i>	野中涼	書評	
			Elizabeth Langland, <i>Anne Brontë: The Other One</i>	廣田稔	書評	
			大橋洋一訳 『テリー・イーグルトンのブロンテ三姉妹』	山本和平	書評	
			日本におけるブロンテ研究書誌（その3）	樋口陽子 金子弥生		
2	1	1992	アン・ブロンテの求めた女性像 ——小説の中のヒロインたち——	山口弘恵	論文	無
			<i>Villette versus Jane Eyre</i> --The Path of the Outsider--	Yumiko Hada	論文	
			シャーロット・ブロンテの結婚と愛 ——マリッジ・セツルメントと遺言をめぐって——	川田秀子	研究ノート	
			'a chainless soul'と『エミリー・ブロンテ』	植松みどり	研究ノート	
			Edward, Chitam. <i>A Life of Anne Brontë</i>	内田正子	書評	
			大平栄子著 『「嵐が丘」研究』	宇田和子	書評	
			中岡洋訳 『エミリー・ジェイン・ブロンテ全詩集』	森松健介	書評	
			日本におけるブロンテ研究書誌（その4）	文献委員会		
2	2	1993	詩、散文と詩的散文の特異性	柳五郎	論文	無
			アン・ブロンテの詩	森松健介	論文	
			シャーロット・ブロンテの心の美学 ——ジェイン・オースティンとの比較において	白井義昭	論文	
			『ブランウェル・ブロンテ フルート曲集』と『アン・ブロンテ歌集』	樋口陽子	研究ノート	
			Carol Bock, <i>Charlotte Brontë and the Storyteller's Audience</i>	佐藤和代	書評	
			Patricia H. Wheat, <i>The Adytum of the Heart, The Literary Criticism of Charlotte Brontë</i>	芦澤久江	書評	
			山口弘恵著 『アン・ブロンテの世界』	児玉久雄	書評	
			白井義昭著 『シャーロット・ブロンテの世界——父権制からの脱却』	内田能嗣	書評	
			朝日千尺著 「自然の申し子ジェイン・エア」	榎本義子	書評	
			日本におけるブロンテ研究書誌（その5）	文献委員会		
			Emily Brontëと懐疑の時代 ——Unavailability of Godをめぐって——	小菅東洋	論文	
			『嵐が丘』のゴシシズムとキャサリン・リントンの読書	田中淑子	論文	
			『ジェイン・エア』における夢	吉岡真弓	論文	

2	3	1994	自然、その馴化 ——『シャーリー』について	林 完枝	論文	無
			Branwell; 子孫登場の真偽について	多比羅真理子	研究ノート	
			Jane Eyre 'mysterious summons'をめぐって	杉村藍	奨励賞受賞論文	
			『嵐が丘』論——排除の反復	杉村寛子	奨励賞受賞論文	
			書くヒロインと読むヒーロー ——アン・ブロンテ『ワイルドフェル・ホールの住人について』——	大田美和	奨励賞受賞論文	
			Dorothy Mermin, <i>Godiva's Ride: Women of Letters in England 1830-1880</i>	富士川和男	書評	
			Harold Bloom (ed.), <i>Heathcliff</i>	朝日千尺	書評	
			Diane Long Hoeveler & Bath Lau (eds.), <i>Approaches to Teaching Brontë's Jane Eyre</i>	吉田尚子	書評	
			早越弘子著「『嵐が丘』におけるヒースクリフの役割」	金子弥生	書評	
			山田明子著「ソーンフィールドの囚われ人——『ジェイン・エア』考」	金子弥生	書評	
			日本におけるブロンテ研究書誌（その6）	文献委員会		
2	4	1995	<i>Jane Eyre and Framing the Power Threshold</i>	Rosemarie A.L. Morgan	論文	無
			<i>Jane Eyre</i> : "Jane" Eyre, そして "Jane" Austen	惣谷美智子	論文	
			アングリヤからの脱出——断章 「アッシュワース」におけるリアリズムの試み	岩上はる子	論文	
			<i>Jane Eyre as The Book of Revelation</i> ——「月」の意味するもの——	中尾和代	奨励賞受賞論文	
			Jill Dix Ghanassia, <i>Metaphysical Rebellion in the Works of Emily Brontë</i>	芦澤久江	書評	
			青山誠子著 『人と思想——ブロンテ姉妹』	柳五郎	書評	
			川本静子著『ガヴァネス（女家庭教師） ——ヴィクトリア朝の<余った女>たち』	都留信夫	書評	
			白井義昭訳 『ブロンテ——家族と作品世界』	岩上はる子	書評	
日本におけるブロンテ研究書誌（その7）	文献委員会					
2	5	1996	<i>The Art of the Brontës</i>	Christine Alexander	論文	無
			狂女の虚実とヒロイン ——『ジェイン・エア』のバーサ・メイスンをめぐって	木村晶子	論文	
			『嵐が丘』におけるドッペルゲンガーのモチーフ	廣野由美子	論文	
			認識のドラマ ——エミリー・ブロンテの「ゴンドル」試論	田村裕二	奨励賞受賞論文	
			Christine Alexander and Jane Sellars, <i>The Art of the Brontës</i>	鈴木万里	書評	
			Lyndall Gordon, <i>Charlotte Brontë--A Passionate Life</i>	阿部美恵	書評	
			青山誠子著 『ブロンテ姉妹——女性作家たちの十九世紀』	白井義昭	書評	
			中岡洋編著 『「ジェイン・エア」を読む』	久野幸子	書評	
			Brontë Museum Research Library所蔵の 英語以外のブロンテ関係諸文献リスト	青山誠子		
			中国におけるブロンテ研究の動向	青山誠子		

			日本におけるブロンテ研究書誌 (その8)	文献委員会		
3	1	1997	ゴンドルの風、嵐が丘の風	佐野哲郎	論文	僅
			イヴの娘たち——Shirelyにおける女同士の関係	風間未起子	論文	
			交錯する視線 ——C.ブロンテの『ヴィレット』について	木村晶子	論文	
			<i>Wuthering Heights</i> における ロックウッドの語りとゴシック小説	山内理恵	論文	
			『ワイルドフェル・ホールの住人』 におけるセクシュアリティと結婚制度	大田美和	論文	
			女が書く——社会的コンテクスト・ 文学的プリテクスト	惣谷美智子	論文	
			J. オースティンとC. ブロンテ シャーロット・ブロンテの未完の 喪の仕事としての『シャーリー』	石毛奈緒子	奨励賞佳作論文	
			<i>Villette</i> に見る女性の服装と セクシュアリティ: Lucy	武井暁子	奨励賞佳作論文	
			<i>Snowe</i> の福音主義と家父長制への反逆			
			Jerome Beaty, <i>Misreading Jane Eyre: a Postformalist Paradigm</i>	緒方孝文	書評	
			Charles Lemon (ed.), <i>Early Victorians to Haworth: From Ellen Nussey to Virginia Woolf</i>	津田聖子	書評	
			シャーロット・ブロンテ, パトリック・ブランウ エル・ブロンテ著、都留信夫他訳 ブロンテ全集1 1『アングリヤ物語』	大平栄子	書評	
アーサー・ポラード著、山脇百合子訳 『風景のブロンテ姉妹』	柴田恭子	書評				
3	2	1998	『嵐が丘』における時間の様相	上田幸子	論文	無
			<i>Wuthering Heights</i> の二つの日記 ——"from manuscript to print"について——	兼中裕美	奨励賞受賞論文	
			『ジェイン・エア』論 ——超自然的場面を中心に	松岡美鈴	奨励賞佳作論文	
			中岡洋・内田能嗣編著 『ブロンテ姉妹の時空——三大作品の再評価』	廣田稔	書評	
			Maria H. Frawley, <i>Anne Brontë</i>	天野みゆき	書評	
			Diane Long Hoevelor, Lisa Jadwin, <i>Charlotte Brontë</i>	武井暁子	書評	
3	3	1999	映像の中のバーサ/アントワネット	津田聖子	論文	無
			エミリ・ブロンテと詩作の問題	兼中裕美	論文	
			シャーロット・ブロンテの作品における 鏡の中の女性像	木村晶子	論文	
			<i>Villette</i> --"the homely web of truth"とゴシック	惣谷美智子	奨励賞審査員特別賞 論文	
			<i>Villette: Frame</i> の世界で	吉野美智子	奨励賞受賞論文	
			柳五郎編著 『エミリ・ブロンテ論』	押本年真	書評	
			岩上はる子著 『ブロンテ初期作品の世界』	堀出稔	書評	
			ダニエル・プール著、片岡信訳 『ディケンズの毛皮のコート/シャーロットの片思 いの手紙』	中岡洋	書評	
			<i>Shirley</i> をどう読むか?	鮎澤乗光	巻頭論文	
			特集号「20世紀のブロンテ」に寄せて	富士川和男	特集号論文	
			シャーロット・ブロンテと自然	白井義昭	特集号論文	
			<i>Jane Eyre</i> 批評にみる20世紀の視点	杉村藍	特集号論文	
			『ジェイン・エア』と『パミラ』	井上澄子	特集号論文	

3	4	2000	『ジェイン・エア』と『アニー・ジョン』における色彩の修辭的使用	市川千恵子	特集号論文	無
			『シャーリー』の方法 ——二元的思考をめぐって	清水伊津代	特集号論文	
			返事のない手紙 ——Charlotte Brontë, <i>The Professor</i> 試論	田村裕二	特集号論文	
			<i>The Professor</i> におけるmasculinityの支配	吉野美智子	特集号論文	
			20世紀が獲得したもの——「ゴンドル」	芦澤久江	特集号論文	
			20世紀は『嵐が丘』の時代 ——評価の逆転について——	中岡洋	特集号論文	
			『嵐が丘』の'penetratum'	前田淑江	特集号論文	
			Chatherineは誰の子か?	泉忠司	特集号論文	
			往還する想像力——E・ブロンテの『嵐が丘』とバルテュス	久守和子	特集号論文	
			"I could not speak the feeling": Emily Brontëの詩と自己表現	兼中裕美	特集号論文	
			オーソドックスな解釈と脱構築的読み ——「哲学者」の場合	山本紀美子	特集号論文	
			「いくつかの人生観」にみるアンの宗教観	内田能嗣	特集号論文	
			真田時蔵著 『エミリー・ブロンテ』	中岡洋	書評	
			中岡洋・内田能嗣編著 『ブロンテ文学のふるさと』	宇田和子	書評	
			中岡洋・内田能嗣編著 『アン・ブロンテ論』	松原恭子	書評	
Marianne Thormählen, <i>The Brontës and Religion</i>	白井義昭	書評				
3	5	2001	ブロンテ姉妹と三角貿易	津田聖子	論文	無
			『ヴィレット』におけるルーシー・スノウの語り	田村真奈美	論文	
			Emily Brontëの神秘詩No. 148の考察	山本紀美子	奨励賞受賞論文	
			『シャーリー』とガヴァネス問題	松岡美鈴	奨励賞佳作論文	
			廣野由美子『「嵐が丘」の謎を解く』	市川千恵子	書評	
			バーバラ・ホワイトヘッド著、中岡洋監訳『シャーロット・ブロンテと「大好きなネル」』	清水伊津代	書評	
			Margeret and Robert Cochrane., <i>My Dear Boy. The Life of Arthur Bell Nicholls, B.A. Husband of Charlotte Brontë</i>	舟橋美香	書評	
Kathleen Constable., <i>Stranger Within the Gates: Charlotte Brontë and Victorian Irishness</i>	田中淑子	書評				
3	6	2002	The Brontë Family's Lives in Thornton, 1815-1830	バーバラ・ホワイトヘッド	巻頭論文	無
			「女らしさ」からの逸脱： <i>Villette</i> のエンディングの意味	奥村真紀	奨励賞佳作論文	
			『ジェイン・エア』における語り手の身体意識	田村真奈美	奨励賞佳作論文	
			"Remembrance" and "Recollection" in <i>Wuthering Heights</i>	皆本智美	奨励賞佳作論文	
			Julie Nash and Barbara A. Suess eds., <i>New Approaches to the Literary Art of Anne Brontë</i>	市川千恵子	書評	
			協会会員ブロンテ研究文献一覧表 (1996.4~2002.3)			
エミリー・ブロンテの実像を求めて	中岡洋	巻頭論文				

4	1	2003	シャーロット・ブロンテとフェミニズム ——ルソーとウルストンクラフトの狭間で——Jane 's "Stockings"・Mary's "Stockings"	惣谷美智子	研究論文	無
			「彼女」の想像力 ——『ヴィレット』・二十一章の意義	杉村寛子	研究論文	
			スミス・エルダー社	小野ゆき子	研究論文	
			Lucy Snoweの「雪の墓」 —— <i>Villette</i> における理性と情熱の葛藤——	片山美穂	奨励賞佳作論文	
			花崖—185歳の誕生日に	紫圭子	創作詩	
			三姉妹の石/荒野	鈴木東海子	創作詩	
			Jean Bellamy, <i>'MORE PRECIOUS THAN RUBIES' Mary Taylor : friend of Charlotte Brontë: strong-minded woman</i>	多田知恵	書評	
4	2	2004	序章のヴァリエーションに見る『教授』の 未完の可能性	大田美和	研究論文	無
			<i>Villette</i> における五感を通じての表現	渡千鶴子	研究論文	
			母なる大地に棄てられた子供—— Emily Brontëの詩における死のテーマ——	片山美穂	奨励賞佳作論文	
			愛すべきヒロイン——『ジェイン・エア』に潜む 二重性——	川口有紀	奨励賞佳作論文	
			作家への道——ブロンテ姉妹の幼年時代	杉村藍	講演要旨	
4	3	2005	ペリー・バヌウのテント ——『ヴィレット』における「場所」	杉村寛子	研究論文	無
			「ネリー」とは誰か——『嵐が丘』における「 呼称」と「呼びかけ」	川村恵子	奨励賞受賞論文	
			『ヴィレット』における教育の二面性	末森恵子	奨励賞佳作論文	
			Christine Alexander and Margeret Smith, <i>The Oxford Companion to the Brontës</i>	岩上はる子	書評	
4	4	2006	ブロンテ研究のはじまり	中岡洋	研究論文	無
			『嵐が丘』における魂の合一	藤井章子	研究ノート	
			Christine Alexander and Juliet McMaster (eds.), <i>The Child Writer from Austen to Woolf</i>	中岡洋	書評	
			Dudkey Green (ed.), <i>The Letters of the Reverend Patrick Brontë</i>	白井義昭	書評	
4	5	2007	『嵐が丘』のDocumentary Fallacy	川口喬一	巻頭論文	無
			ブランウェルの破滅 ——その実相とブロンテ姉妹への影響——	廣野由美子	論文	
			ジュリエット・バーカー著、 中岡洋・内田能嗣監訳『ブロンテ家の人々』	芦澤久江、橋本 清一、他	特集	
			ジュリエット・バーカー著、 中岡洋・内田能嗣監訳『ブロンテ家の人々』	佐野哲郎	書評	
4	6	2008	シャーロット・ブロンテの小説の可能性 ——『シャーリー』の場合——	玉井暲	巻頭論文	無
			『嵐が丘』におけるInnocence ——ネリーの子ども観とキャサリン——	瀧川宏樹	奨励賞佳作論文	
			『アグネス・グレイ』における隠された 姉妹像	西山裕子	奨励賞佳作論文	
			JaneとSt. Johnの＜黙示録＞ —— <i>Jane Eyre</i> のエンディングを読む——	馬淵恵里	奨励賞受賞論文	
			大田美和著 『アン・ブロンテ——二十一世紀の再評価』	清水伊津代	書評	
			マリアンヌ・トーマレン著 『ブロンテ家と教育』	宇田和子	書評	

5	1	2009	エミリー・ブロンテのモダン・ポエトへの贈り物 ——C. day-Lewisの場合——	風呂本武敏	巻頭論文	無
			エミリー・ブロンテ像と『嵐が丘』 ——シャローロットの「伝記的紹介文」と「まえがき」をめぐる——	小田夕香理	論文	
			『ジェイン・エア』における声の呼応	渡千鶴子	論文	
			『白孔雀』と『嵐が丘』の繋がり ——「残虐性」を通して——	山内理恵	奨励賞佳作論文	
			『嵐が丘』における幽霊とvampireの関係	侘美真理	奨励賞受賞論文	
			廣野由美子著『視線は人を殺すか ——小説論11講』	杉村藍	書評	
			サンドラ・ヘイガン/ジュリエット・ウェルズ共編 著『ブロンテ姉妹と芸術の世界』	久守和子	書評	
5	2	2010	書き直される <i>Jane Eyre</i> ——舞台化作品とメロドラマ	奥村真紀	論文	有
			シャーロット・ブロンテのヒロインとしてのスター ール夫人とコリンナ	菟原美和	奨励賞佳作論文	
			中岡洋・芦澤久江（編訳）『シャーロット・ブロンテ 書簡全集/註解』	海老根宏	書評	
5	3	2011	Reflections on Charlotte Brontë, Hero-worship and the Duke of Wellington	Christine Alexander	招待講演	有
			シャーロット・ブロンテとロマン主義時代の歴史 小説・国民小説——『ヴィレット』に見られる枠 組みの変容	鈴木美津子	招待講演	
			「自分」を描く女性たち：シャーロット・ブロン テとエリザベス・ギヤスケル	猪熊恵子	論文	
			絶対解釈によるアン・ブロンテと エリザベス・ギヤスケルのキリスト信仰	大野龍浩	論文	
			『嵐が丘』第9章を英文解釈する ——I am Heathcliffを中心に	岩上はる子	論文	
			Heather Glen, <i>Charlotte Brontë: The Imagination in History</i>	川崎明子	書評	
			Edward Chitham, <i>A Brontë Family Chronology</i>	岩上はる子	書評	
			Akiko Higuchi, <i>The Brontës and Music Second Edition, 2 vols.</i>	清水伊津代	書評	
			トム・ウィニフリス、エドワード・チタム著、 内田能嗣、早瀬和栄、宮川和子訳『ブロンテ姉妹 の作家としての生涯——シャーロットとエミリーを 中心に』	向井秀忠	書評	
			パトリシャ・インガム著、白井義昭訳 『ブロンテ姉妹』	佐野哲郎	書評	
			内田能嗣編著『ブロンテ姉妹の世界』	田中淑子	書評	
宇田和子編著、小野ゆき子、田中淑子、佐藤 郁子著『ブロンテと芸術：実生活の視点から』	渡千鶴子	書評				
			ブロンテ文学における自然と主体	清水伊津代	講演	有
			ヴィクターは矯正されるのか ——『教授』における情熱の問題	片山美穂	論文	
			岡田美津とブロンテ文学	手島伸一	論文	
			ロザリーの解釈を廻って——W.A.クレイクの 『アグネス・グレイ』論再考	的場朋子	論文	
			アン・ブロンテのスカーパー体験 ——鉄道開設前後の文化とロビンソン家令嬢と 梨園の御曹司の駆け落ち結婚	大田美和	論文	

5	4	2012	「異国」としての病室 —— <i>Shirley</i> における家父長制と看護婦	村田尚子	奨励賞佳作論文	有
			Minako, YAGI, <i>Emily Brontë's World of Creative Contrasts: Realism and the Supernatural in Wuthering Heights</i>	植松みどり	書評	
			長瀬久子著『エリザベス・ギヤスケルと シャーロット・ブロンテ ——その交友の軌跡と成果』	田村真奈美	書評	
			風間末起子著『フェミニズムとヒロインの変遷— —ブロンテ、ハーディ、ドラブルを中心に』	井上澄子	書評	
			廣野由美子著『一人称小説とは何か——異界の「 私」の物語』	玉井暲	書評	
			Cary Fukunaga監督 <i>Jane Eyre</i> (2011)	林完枝	映画評	
5	5	2013	ブロンテ作品を用いた英語・英文学教育 ——バーサの表象に着目した授業案	斎藤兆史	講演	有
			『ヴィレット』における幽霊 ——「想像力」の開放と「理性」による抑制	石井麻璃絵	論文	
			ブランウェル・ブロンテのアングリヤ戦争詩 ——ザモーナの凋落と自然のメタファー——	菟原美和	論文	
			"That Glorious World"の言語化の問題	馬場理絵	奨励賞受賞論文	
			消えゆく「声」を読む——『シャーロット・ブロンテの生涯』における女性作家像の限界	野津友里子	奨励賞佳作論文	
			男性主人公・ヒースクリフに課せられた任務 ——『嵐が丘』における逆説的な性差の描写	衣川二三	奨励賞佳作論文	
			Ann Dinsdale, <i>At Home with the Brontës: The History of Haworth Parsonage and its Occupants</i>	清水伊津代	書評	
			Christine Alexander et al. (eds), <i>Charles Dickens. The Bill of Fare, O'Thello & Other Early Works</i>	江口智子	書評	
5	6	2014	<i>Jane Eyre</i> のConventionalityとSpirituality	江口智子	論文	有
			Marianne Thormählen, <i>The Brontës in Context</i>	久守和子	書評	
			Ian Ward, <i>Law and the Brontës</i>	鮎澤乗光	書評	
			David Bolt, Julia Miele Rodas, Elizabeth J. Donaldson (eds.) <i>The Mandwoman and the Blindman: Jane Eyre, Discourse, Disability</i>	川崎明子	書評	
			Minae Mizumura, <i>A True Novel, Translated by Juliet Winters Carpenter</i>	岩上はる子	書評	
			パトリック・ブロンテ著、中岡洋編訳 『パトリック・ブロンテ著作全集』	橋本清一	書評	
			サラ・フェルミ著、内田能嗣・清水伊津代・前田淑江監訳 『エミリー・ブロンテの日記』	佐野哲郎	書評	
			Andrea Arnold監督 <i>Wuthering Heights</i>	廣野由美子	映画評	
			シャーロット・ブロンテの風景——最後の 一筆	白井義昭	講演	有
			『嵐が丘』における語りと沈黙	奥村真紀	論文	
			Muriel Spark, <i>The Essence of the Brontës</i>	海老根宏	書評	
			Maria Edgeworth, <i>The Double Disguise</i>	宇田和子	書評	
			Simon Marsden, <i>Emily Brontë and the Religious Imagination</i>	田村真奈美	書評	

6	1	2015	Shouhua Qi and Jacqueline Padgett (eds.), <i>The Brontë Sisters in Other Worlds</i>	兼中裕美	書評	有
			Juliet Barker, <i>The Brontës: Wild Genius on the Moors: The Story of a Literary Family</i>	猪熊恵子	書評	
			Juliet Barker, <i>The Brontës: Wild Genius on the Moors: The Story of a Literary Family</i>	皆本智美	書評	
			火をつける女たち	服部慶子	講演要旨	
			ブロンテとウィリアム・クーパー	田村真奈美	講演要旨	
6	2	2016	The Brontës and History	M. Thormählen	講演	有
			『ヴァイレット』における"My Master"の消失	白井義昭	論文	
			Charlotte Brontësの文学と <i>The Turn of the Screw</i> ——"The Novel Which Has Life"をめぐる——	惣谷美智子	論文	
			『ジェイン・エア』: 原風景としてのゲイツヘッド	栗栖美知子	論文	
			共感を求めて: 『ジェイン・エア』と翻案のメロドラマ性	奥村真紀	論文	
			英国人作家シャーロット・ブロンテとヨーロッパ——『教授』におけるヨーロッパ表象——	皆本智美	論文	
			Jane EyreとLucy Snoweにおける「書くこと」の問題	馬場理絵	論文	
			都合のよい真実——『教授』における科学的観察	杉村藍	論文	
			Unheard Utterance: The Silenced "Women-Titan" in <i>Shirley</i>	早川友里子	論文	
			『ワイルドフェル・ホールの住人』における読むことと書くことの疑似体験	古野百合	奨励賞受賞論文	
			Deborah Lutz, <i>The Brontë Cabinet: Three Lives in Nine Objects</i>	川崎明子	書評	
			『ブロンテと19世紀イギリス 日本ブロンテ協会設立30周年記念論集』	鮎澤乗光	書評	
			岩上はる子、惣谷美智子編著『ブロンテ姉妹と15人の男たちの肖像——作家をめぐる人間ドラマ』	前田淑江	書評	
			廣野由美子著『謎解き「嵐が丘」』	市川千恵子	書評	
6	3	2017	『ジェイン・エア』: ジェインの選択——エロスとアガペ	井上澄子	講演要旨	有
			「山」を描いたブランウェル・ブロンテの詩——"Black Combe"から"PENMAENMAWR"へ——	菟原美和	論文	
			ブランウェル・ブロンテの詩作品における海の表象	瀧川宏樹	論文	
			「陸軍元帥アレグザンダー・パーシー閣下の生涯」における天使と悪魔の構図	片山美穂	論文	
			『嵐が丘』における逸脱したセクシュアリティ	平田佳子	奨励賞受賞論文	
			Christine Alexander and Sara L. Pearson, <i>Celebrating Charlotte Brontë: Transforming Life into Literature in Jane Eyre</i>	植松みどり	書評	

	Robert Edric, <i>Sanctuary</i>	岩上はる子	書評
	Daphne Du Maurier, <i>The Internal World of Branwell Brontë</i>	猪熊恵子	書評
	マリアン・トールマレン著 『歴史のなかのブロンテ』	緒方孝文	書評
	川崎明子著 『ブロンテ小説における病と看護』	佐藤明子	書評
	想像力の軌跡 シャーロット・ブロンテのビルドゥングズロマン	杉村寛子	講演要旨
	シャーロット・ブロンテとレースの趣	佐藤郁子	講演要旨
	『ジェイン・エア』と『螺旋の回転』——ヘンリー・ジェイムズの「一ひねり」——	惣谷美智子	講演要旨

◎在庫状況は2018年2月26日現在のものです。
 最新の状況は、日本ブロンテ協会事務局までお問い合わせください。